

地域産業委員会 案件一覧

(令和7年8月4日開催分)

○所管事務報告 2件

部局	報告順	件名	資料番号	説明者（所管課長名等）
地域未来創造部	1	特別区区民葬儀における助成制度の創設について	7	長沼 地域力推進課長
産業経済部	2	令和7年度「新製品・新技術開発支援事業（開発ステップアップ助成・実用化製品化助成）」における助成企業の決定について	4	高野 工業振興担当課長

地域産業委員会 令和 7 年 8 月 4 日
地域未来創造部 資料 7 番
所管 地域力推進課

特別区区民葬儀における助成制度の創設について

1 主旨

特別区は令和 8 年度から当面の間、特別区区民葬儀利用者のうち、特別区が指定する民営火葬場を利用した区民を対象とする、23 区共通の助成制度を創設する。

助成額及び助成手続き等制度の詳細については、令和 8 年度予算編成の中で検討される。

2 特別区区民葬儀（以下「区民葬儀」）とは

区民の葬儀費用の負担軽減のため、全東京葬祭業協同組合連合会に加盟する区民葬儀取扱業者が行っている葬儀のこと。

区民葬儀券は、各区役所の交付窓口で発行し、利用者は区民葬儀券の区分（祭壇、霊柩車、火葬（遺骨収集容器を含む））ごとに必要とするものを選び、組み合わせて利用することができる。

なお、区民葬儀券は、区民葬儀取扱業者以外には取り扱いえない。

3 特別区における助成制度創設の理由

区民葬儀取扱業者のうち、火葬券の利用先である、特別区内で 6 か所の火葬場を運営する東京博善株式会社が、令和 8 年 3 月 31 日をもって区民葬儀の取り扱いを取り止める旨を公表した。

また、昨今の物価高により葬儀全般にかかる費用が増加していること及び、火葬場の管理について定めた「墓地、埋葬等に関する法律」により、火葬場が区民生活にとって不可欠なものであり、公共的な施設でもあること等を踏まえ、区民葬儀を利用する方の経済的負担を軽減する観点から、特別区は総合的に判断した。

4 助成期間

令和 8 年度から当面の間

5 助成内容

区民葬儀の祭壇券などを利用し、かつ区民葬儀としての火葬券を利用できない火葬場（東京博善株式会社が運営する特別区内 6 か所の火葬場）を利用した区民に対し、助成を行う。

地域産業委員会 令和 7 年 8 月 4 日
産業経済部 資料 4 番
所管 産業振興課

令和 7 年度「新製品・新技術開発支援事業（開発ステップアップ助成・実用化製品化助成）」における助成企業の決定について

1 目的

区内中小企業の技術力・製品開発力の向上及び高付加価値を生むものづくり産業の創出を目指して新製品・新技術開発に助成金を交付する。これにより産業者のチャレンジを促し、併せてものづくりマインドの醸成を図る。

2 実施主体

公益財団法人大田区産業振興協会

3 助成内容及び助成上限額

区内企業が取り組む新製品・新技術の開発について、開発の段階に応じて次の 3 類型で助成する。

- (1) トライアル助成 100万円（助成率 1／2）
企業の成長につながる新製品・新技術を開発するための市場調査を行うもの
- (2) 開発ステップアップ助成 500万円（助成率 2／3）
企画・設計から試作開発までの取組を行うもの
- (3) 実用化製品化助成 500 万円（助成率 2／3）
試作開発が終わり、実用化製品化に向けた取組を行うもの
※トライアル助成については、通年申請・審査・助成のため別途募集・審査・助成を行う。

4 募集・審査結果

- (1) 募集期間 令和 7 年 4 月 1 日（火）から 16 日（水）まで
- (2) 応募件数 36 件 ※うち 1 社は書類審査期間中に辞退
内訳：開発ステップアップ助成 18 件、実用化製品化助成 18 件
- (3) 書類審査 令和 7 年 5 月 26 日（月）
- (4) 面接審査 令和 7 年 6 月 11 日（水）、12 日（木）
- (5) 最終審査 令和 7 年 6 月 30 日（月）
- (6) 助成採択企業 11 社（詳細は「5 助成企業一覧」のとおり）
 - ① 開発ステップアップ助成 7 社
 - ② 実用化製品化助成 4 社

5 助成企業一覧 助成総額 54,185 千円

(類型ごと受付順)

① 開発ステップアップ助成 7 社

(単位：千円)

番号	企業名	総事業費	助成額	事業テーマ
1	デザイン&テクノロジー合同会社	7,478	4,985	犬の健康状態可視化システム
2	ユー・エー株式会社	7,500	5,000	最新の低侵襲内視鏡手術トレーニングに対応した、脳神経および泌尿器領域を含む人体モデルの開発
3	株式会社 cosmobloom	9,697	5,000	3U/6U 型 CubeSat 向け膜面式デオービット装置の開発
4	ジオ・サーチ株式会社	12,940	5,000	護岸壁裏空洞調査システムの開発
5	株式会社 Piezo Sonic	6,780	4,520	ピエゾソニックモータを利用した小型ジンバルシステムの開発
6	株式会社 Xenoma	7,500	5,000	ヒューマンインタラクションハードウェアの量産化検討
7	有限会社プロトタイプ	7,750	5,000	モーターサイクルシミュレータを使用したリアルタイムモーションキャプチャスーツの開発
計		59,645	34,505	

② 実用化製品化助成 4 社

(単位：千円)

番号	企業名	総事業費	助成額	事業テーマ
8	株式会社クマクラ	7,020	4,680	超音波援用スクライバー（マイクロスクライバー）の製品化
9	株式会社 OUTSENSE	7,550	5,000	「SORIORIPANEL」の不燃化/高機能化に向けた検討
10	株式会社グーテンベルク	9,120	5,000	高機能樹脂「PEEK」の造形を可能とする新型 3D プリンターの開発
11	フィーサ株式会社	9,338	5,000	安定したイオンバランスの超薄型静電気除去装置
計		33,028	19,680	